

| | | | | |
|-----------|----------|---------|--------|--------|
| 開講科目名 | 日本語作文中級B | | | |
| 成績入力担当 | 齊藤 美穂 | 開講区分 | | 単位数 |
| | | 第2クォーター | | 0.0単位 |
| ナンバリングコード | R1IG050 | 曜日・時限等 | 月4(対面) | 時間割コード |

授業のテーマ

中級レベルの作文能力の育成を図る。自己や他者の考えを整理し、複数の段落からなる文章を書く力を養う。授業はグループで話し合ったり、互いにコメントしたりする活動を含む。

授業の到達目標

1. 段落ごとにまとまりのある文章を書く。
2. 読み手を意識し、文体や文章の構成を考えて書く。
3. 文章を論理的に構成する。

授業の概要と計画

- 第1回(6/15)：段落
 第2回(6/22)：発表①
 第3回(6/29)：意見文を書く
 第4回(7/6)：小論文によく使われる表現①
 第5回(7/13)：発表②
 第6回(7/22)：小論文によく使われる表現②と構成
 第7回(7/27)：まとめ・試験
 第8回(8/3)：課題学習

※本講義は対面で実施する。

※シラバスは、変更になる可能性がある。

最新情報は、授業およびBEEF Plus、うりぼーネットで確認すること。

※授業内容は受講者のニーズによって、適宜変更することがある。

成績評価方法

授業活動及び授業参加度、課題、試験で総合評価する。

1. 授業活動及び授業参加度 (20%)
2. 課題・発表 (40%)
3. 試験 (40%)

※出席率70%以上を満たすことが、成績評価の前提条件とする。この条件を満たさない場合は、自動的にF(不可)となる。

※課題および試験の詳細については、授業で説明する。

成績評価基準

1. 授業活動及び授業参加度：主体的に授業活動に取り組み、グループワークを通じて、他の受講者とコミュニケーションを図りながら、作文能力を向上させようとしているか。
2. 課題：各回の課題に取り組み、フィードバックや授業活動を踏まえ復習し、その成果を次回の課題に活かしているか。
3. 試験：学習したことを適切に活用し、作文を書けているか。

履修上の注意（関連科目情報）

【注意事項】

- ・授業の資料を他の人に提供したり、SNSに公開したりしないこと。
- ・録画、録音、撮影はしないこと。
- ・GEC-JTestで「中級レベル」と判定された学習者を対象とする。
- ・課題の締め切りは守ること。
- ・締め切りを守らなかった課題はフィードバックできない。または、減点する。

【関連科目情報】

- ・「日本語作文中級A」を修了していることが望ましい。
- ・「日本語読解中級A」を同時に履修することが望ましい。

事前・事後学修

【事前学修】

課題に対するフィードバックに目を通しておくこと。

【事後学修】

授業におけるフィードバックやグループワークを踏まえ、語彙や文法を復習すること。

本学では1単位あたりの学修時間を45時間としています。毎回の授業にあわせて事前学修・事後学修を行ってください。

オフィスアワー・連絡先

古川 もも子（ふるかわ ももこ）
k0145488[AT]gsuite.kobe-u.ac.jp

※上記のアドレスの[AT]の部分を実アドレス@（半角）に置き換えた上で、宛先に入力。

※質問は、原則、授業中にすること。

※相談は、授業前または授業後の休み時間に行う。個別の相談がある場合は、事前にその旨をメールで申し出ること。

学生へのメッセージ

グループワークを通じて、豊かな表現力を身につけ、日本語で文章を書く能力を磨いていきましょう。

今年度の工夫

教科書

中級日本語学習者対象『小論文への12のステップ』 / 友松悦子：スリーエーネットワーク，2008，ISBN:

参考書・参考資料等

適宜BEEF+や授業で提示する

授業における使用言語

日本語

キーワード

日本語 作文 中級 パソコン 交換留学生（特別聴講学生）可